

## 授業科目 臨床血液学 I

【担当教員名】 大山 富三		対象学年	3	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○				
【概要・一般目標：GI0】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>血液疾患とその検査に必要な正常状態における血液成分の産生、形態、機能について理解する。</li> <li>凝固止血機構とその検査に必要な血小板、凝固・線溶系について、産生、仕組みと働きについて理解する。</li> </ol>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>血液の概要を述べる。</li> <li>血液細胞の分化、成熟、崩壊に至る造血過程について説明する。</li> <li>血液細胞の生体内での機能について説明する。</li> <li>血液細胞の形態について説明する。</li> <li>止血機構について説明する。</li> <li>凝固線溶系の仕組みについて説明する。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	血液の概要 血液の成分と機能			1	講義
2	血球の種類と生成、分化、成熟、崩壊			2	講義
3	正常赤血球の形態と機能			2-4	講義
4	赤血球の分化・成熟と形態変化			2-4	講義
5	ヘモグロビンの構造と代謝			3-4	講義
6	鉄の代謝、葉酸、VB12 の代謝			3-4	講義
7	正常白血球の種類と形態			2-4	講義
8	正常白血球の機能（1）			3	講義
9	正常白血球の機能（2）			3	講義
10	正常白血球の分化、成熟過程と形態変化（1）			2-4	講義
11	正常白血球の分化、成熟過程と形態変化（2）			2-4	講義
12	出血と止血の仕組み、一次止血と二次止血			5	講義
13	凝固機序、凝固因子の種類			5-6	講義
14	線維素溶解の機序、凝固と線溶の関係			6	講義
15	凝固線溶系の制御機構			6	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 血液検査学 第3版	奈良 信雄 他	医歯薬出版	2013・5,400円＋税
参考書		血液細胞アトラス 第5版	三輪 史朗、渡辺 陽之輔	文光堂	2005・9,000円＋税
その他の資料		配布資料			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
定期試験 60%程度 小テスト 40%程度		講義の内容は広範囲になるので予習、復習を必ずしておくこと。また、血球の形態観察も必要となるため参考書（アトラス）を活用すること。なお、臨床血液学 II を学ぶためにも本講義内容を十分理解することが必須であるため、不明な点は質問をするなど早期に解決すること。			